

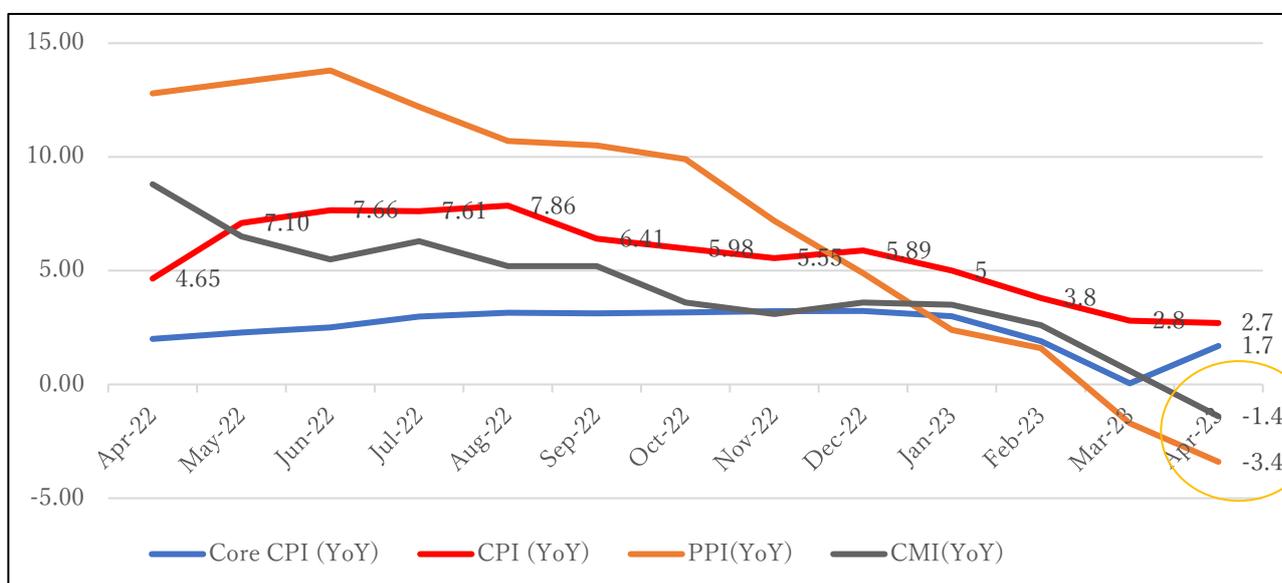
タイ経済指標斜め読み

(2023年5月版)

ビジネスサポート部
加藤義人
kato@mat.co.th

1. 【データ：物価指数】

タイ商務省は、4月の消費者物価指数（CPI）、生産者物価指数（PPI）、建設資材物価指数（CMI）を発表した。（指数値：前年同月比較）



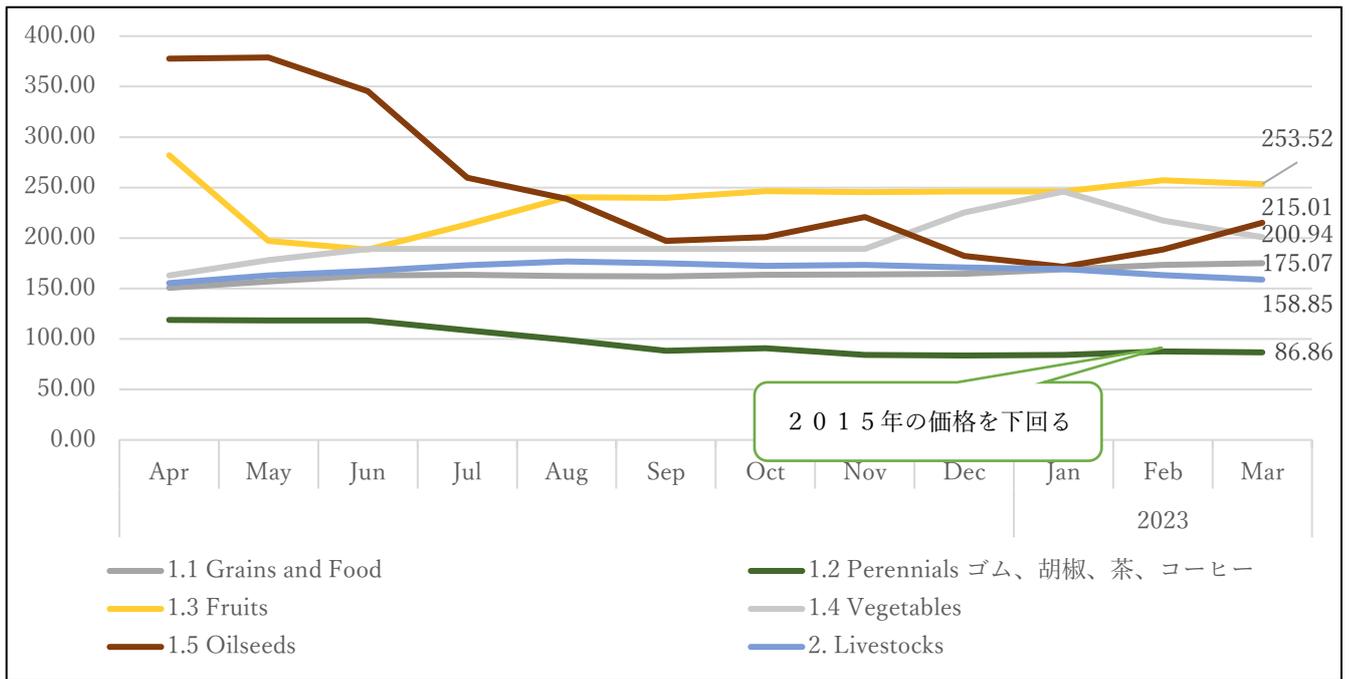
出所：<http://www.price.moc.go.th/en/Default5.aspx>

CPIは、前年同月比で+2.7%、コアCPIは、+1.7%、PPIは、前年同月比で-3.4%、CMIは、前年同月比で-1.4%となった。コアCPI以外の3指数は、共に前月を下回り、物価が抑えられている。一方、コアCPIはプラスに転じた要因として、政府が穀物農家の支援を止めたことが考えられるが、CPIが落ち着いてきたことから、全体的に指数は安定している。

2. 【データ：農産品物価指数】

タイ農業協同組合傘下のタイ農業経済局は、3月の農産品物価指数を発表した。

(2015年=100)

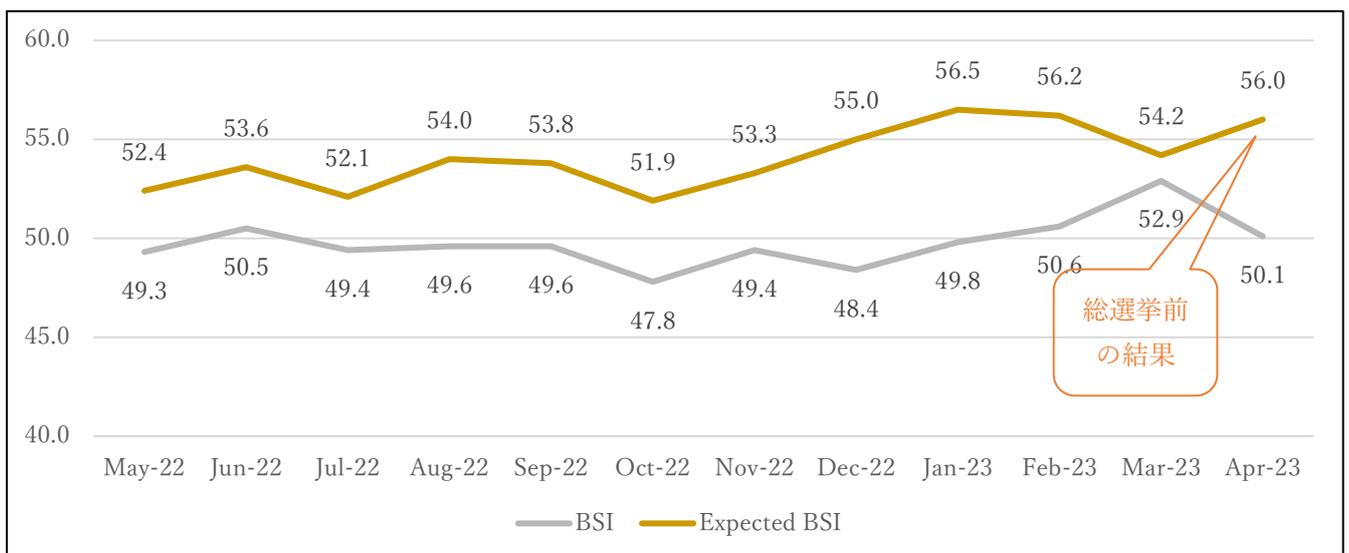


出所 : <https://www.oae.go.th/>

比較年が2015年となり、2023年の値は当然その頃よりは価格が上がっていることが予想されるが、フルーツ系は約2.5倍、食用油や野菜は約2倍以上に値上がりしていることが見て取れる。一方で、ゴム、茶、コーヒーなどの多年草系は86.9と2015年の価格を下回っているのが印象的。価格が安定しているというより、外国産に押されて価格が下がっているようにも見て取れる。

3. 【データ：ビジネス景況感指数】

タイ中央銀行は、4月のビジネス景況感指数（BSI）を発表した。（50＝変化なし）



出所 : <https://www.bot.or.th/>

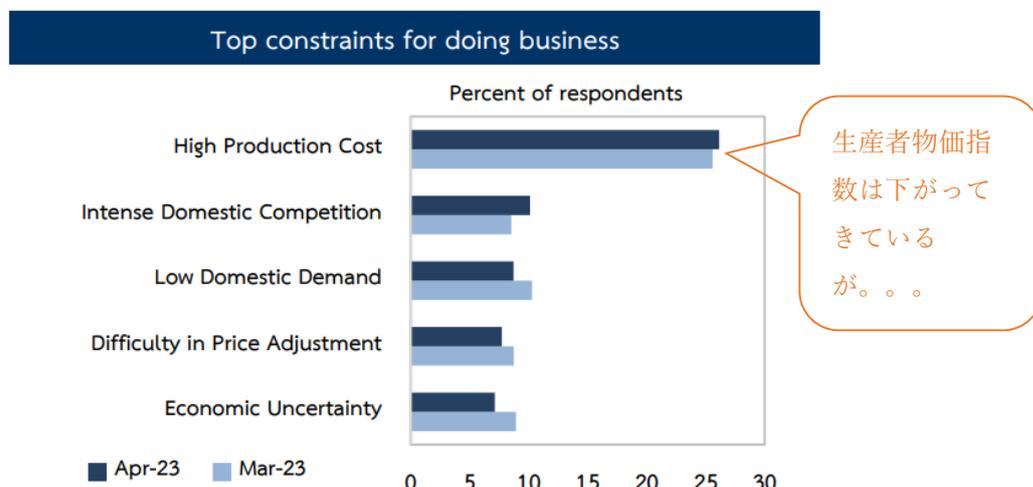
BSIは、50.1ポイントとなり、3月から2.8ポイント下落した。これは、ソンクラン休暇などの長期休暇があり、生産量が減少したことに起因している。一方、三か月後の期待値は、56ポイントとなり、大方がビジネスは引き続き好転していくとの回答とな

った。懸念材料として、生産コスト高や国内競争の激化となっている。

4. 【調査：ビジネス上の障害】

タイ中央銀行は、4月のビジネス上の障害に関するアンケートを行った。

回答数：505、 回答率：63.2%



出所：<https://www.bot.or.th/>

4月のアンケート調査では、引き続き製造コスト高が割合を伸ばした。二番手に国内競争の激化となった。一方、国内需要、価格調整、経済の不透明感などは割合を下げた。製造コストは原材料以外に人件費も大きく、タイの政党は最低賃金の上昇や生活手当の支給などを下院選挙の公約に掲げており、この傾向はしばらく続くとみられる。

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し、2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2023 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。